

麗
し
ぎ
卑
辱
の
放
課
後



Adult Only



麗
し
き
卑
辱
の
放
課
後





ん~~~~ううっ
くくくくく...

おん~~~~



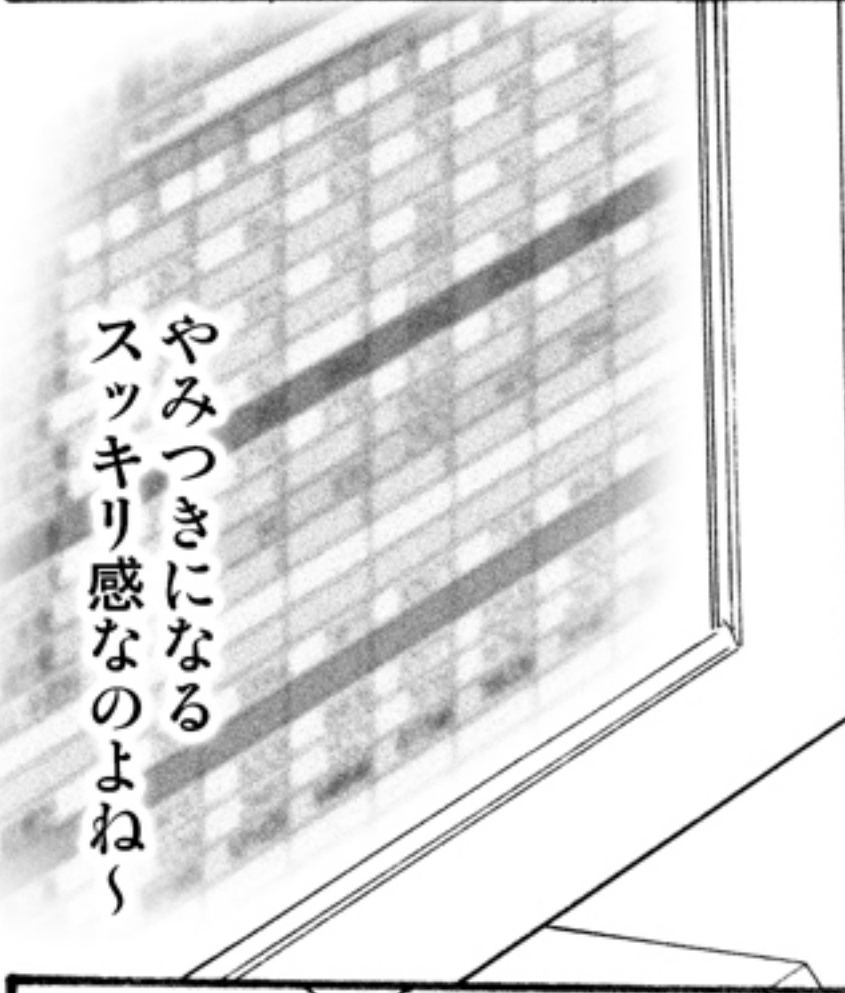
カチャ

カチャ
カチャ



カチャ
カチャ...

よし...っと



やみつきになる
スツキリ感なのよね

表計算ソフトだから
ぴったり合うのは
当たり前なんだけど



うっとり...

はー：
たまんないなあ
すべての数字が
一致する
この瞬間♪



ちようど
来期の予算が
組み上がった
ところなんです

いま
出力しますね

いえ...
趣味みたいなの
ものですから
あ先生
そんなこと
より



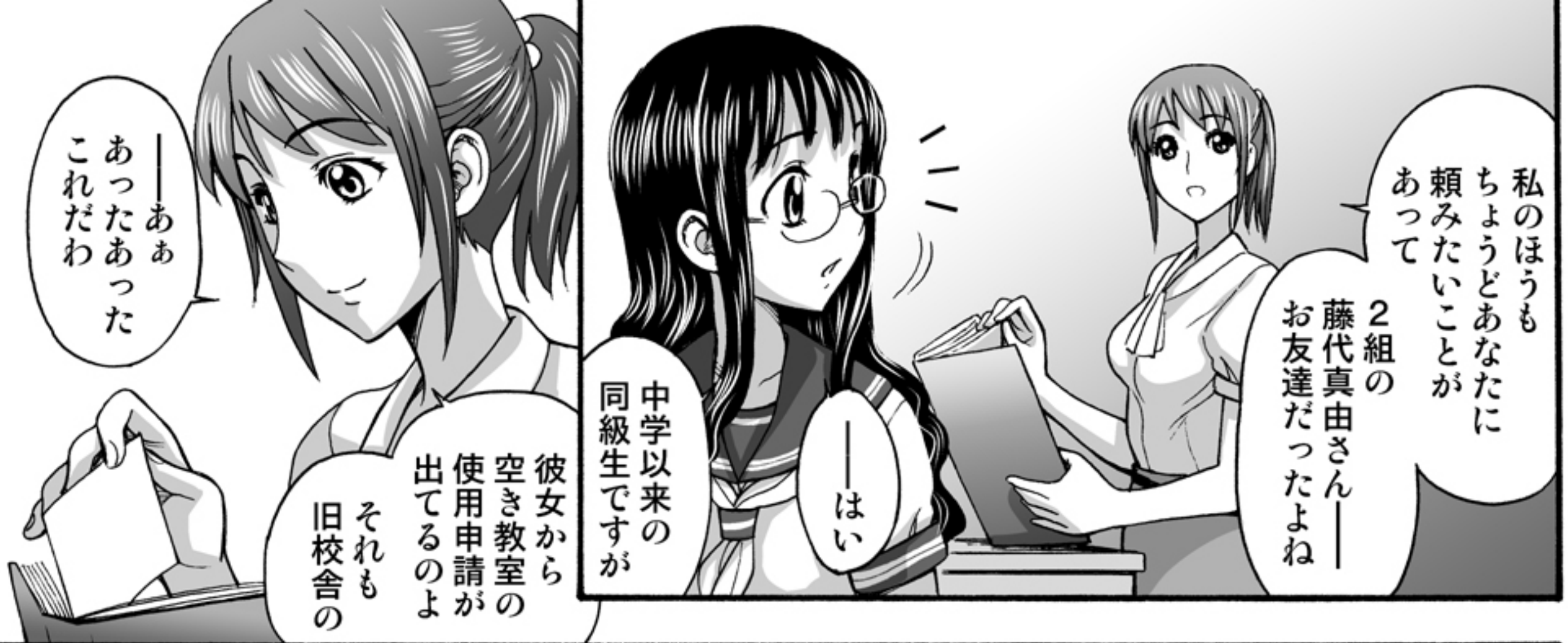
いつもながら
仕事熱心ね

あなたが
生徒会会計で
ほんとうに
助かるわ



カチャ

—あら
樋口さん



私のほうも
ちようどあなたに
頼みたいことが
あって

2組の
藤代真由さん—
お友達だったよね

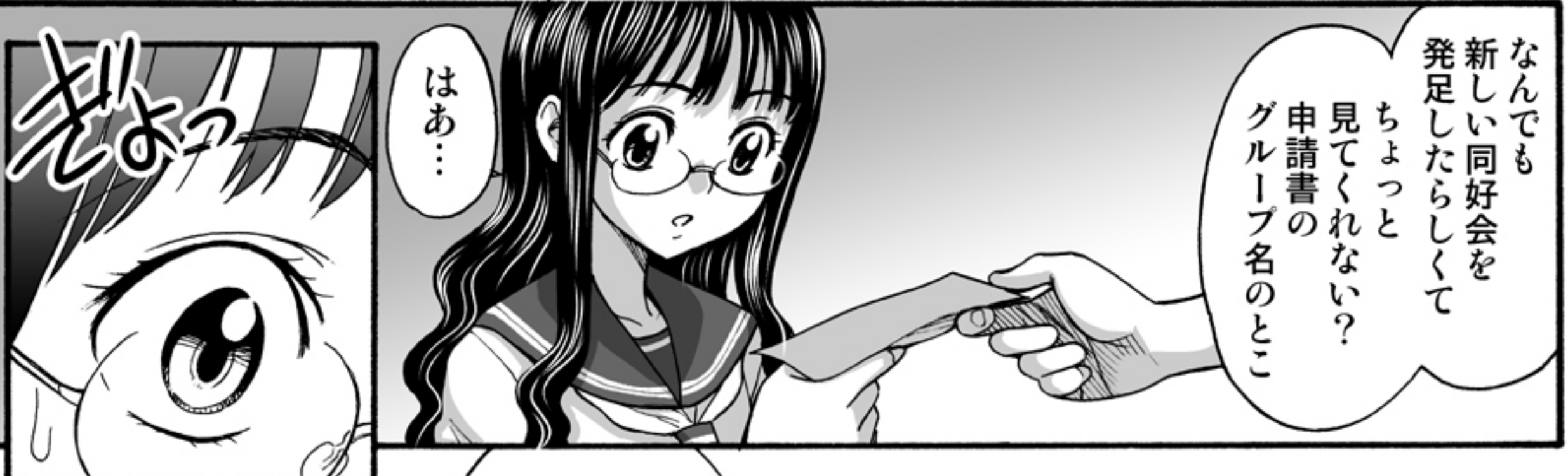
—はい

中学以来の
同級生ですが

彼女から
空き教室の
使用申請が
出てるのよ

それも
旧校舎の

—ああ
あったあった
これだわ



なんでも
新しい同好会を
発足したらしくて
ちよっと
見てくれない?
申請書の
グループ名のところ

はあ...



代表者名	藤代真由
部活・グループ名	はこまる愛好会
利用予定日時	

こ...これは
いったい...

具体的に
どんな活動をする
愛好会なのか
樋口さんから
聞いておいて
もらいたいのよ

私が...ですか?



仲間うちだけで
通じる若者言葉か
何かかしら

樋口さんは
心当たりない?

いやまあ...
連想するものが
無くはない
ですけど...

あら!
それなら
なおのこと
好都合だわ

ええ

報告は事後で
かまわないわ

とりあえずは
様子を見て
活動内容に問題が
あるようだったら
次回の申請からは
却下するけどね

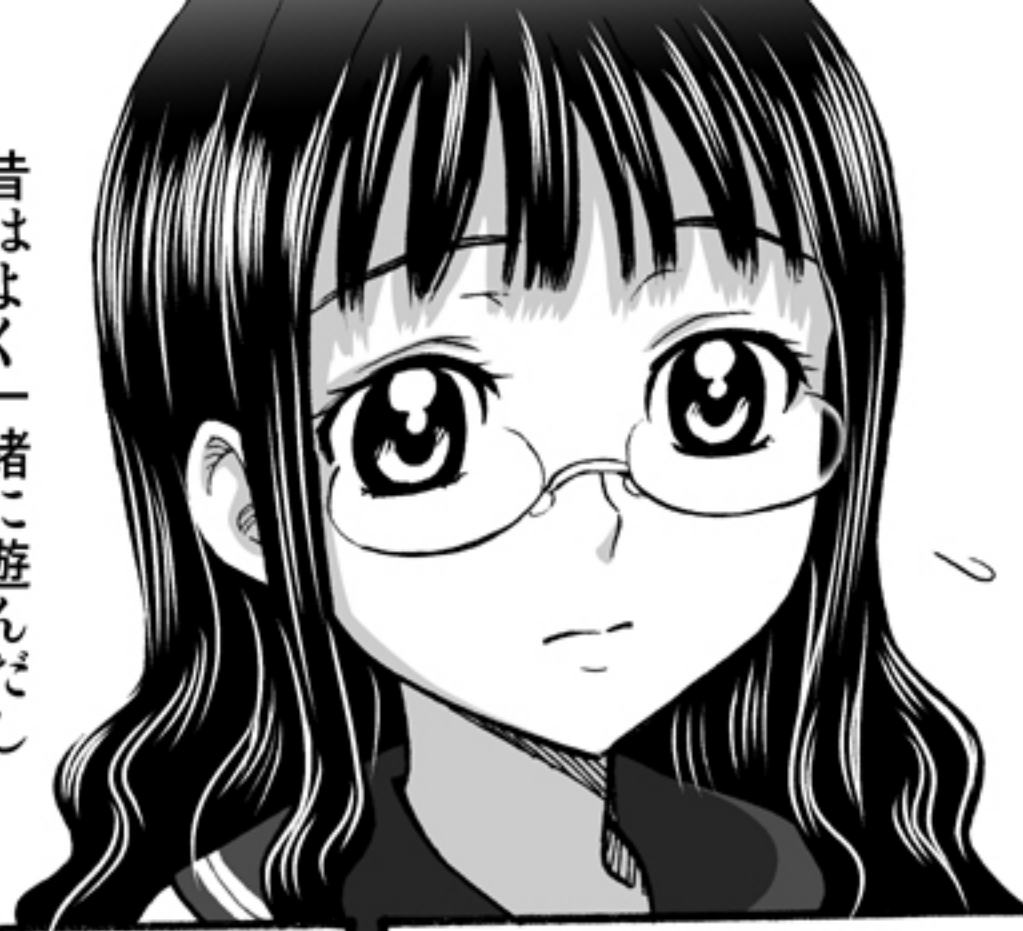
生徒の積極的な行動には
最大の便宜を図るのが
我が校の校風ですから



じゃ
よろしくね

バタン

真由…か



昔はよく一緒に遊んだし
仲良しって言うっていい
関係だったと思うけど
文系と理系で別れてからは
お互い別のつき合いもできて
なんとなく疎遠に
なっちゃったのよね



—しかし
はこまる
…ですか

私にはあの
ゲーム機しか
思い当たらないけど
まさかねえ

うーむ



だいたいあの
ジメジメほこりっぽい
旧校舎でやれる
ものかしら

モニタだっけ
プラウン替いか
かぞそう…ていつか

カニオキヤ
カニオキヤ
カニオキヤ



まあとにかく
聞いてみれば
分かることね
それに—他にも
確かめたいことが
あるし…

真由—っ
お客さん
だよ—っ



おひさしぶり
樋口さん…
ええと

ひいちゃん…
そう—
ひいちゃんって
呼ぶのだったわね

あなたが申請した
旧校舎の
使用許可のこと…



何かしら？
私に
お話…

う…うん
あの…

先生にちよっと
頼まれてさ

こりや驚いた…!!
ウワサには聞いてたけど
とんでもない
キャラチェンジね



おとなしくて
引っ込み思案だった
真由が「妖しさ全開
じゃないの!」

今さら厨二病を
こじらせたとかなら
笑いで済むけど

やっぱり
みんなが噂してる
「あの事件」のせい
なのかしら…?



そう——旧校舎へ
向かう姿を最後に
真由が行方不明と
なったあの事件…
と呼ぶのは
やや大げさすぎる
かもしれない

翌朝 旧校舎廊下の
突き当たりで
気を失って
倒れているところを
あっさりと
発見されたのだから

結局その間のことを
真由は何も覚えておらず
外傷もなかったため
事件性は無しで決着

平凡な日常が
校内に
戻ってきたと
私も
思っていたの
だけれど
どうやらそうでは
なかったようだ

生徒の中には
あの夜 真由は
いかがわしい事件に
巻き込まれたから
記憶喪失のふりを
してるんだ…とか何とか
陰口を叩くやつもいるけど

これは
そんなんじゃない…
もっと別の——



え…?
ゲーム機?

ふふっ やだなあ
そんなわけないでしょ
ひいちゃんったら



そ…そうだよ
だと思っただ
あは…あはは

でも…
それじゃ
いったい
どんな活動を



口で説明するのは
むづかしいのよね

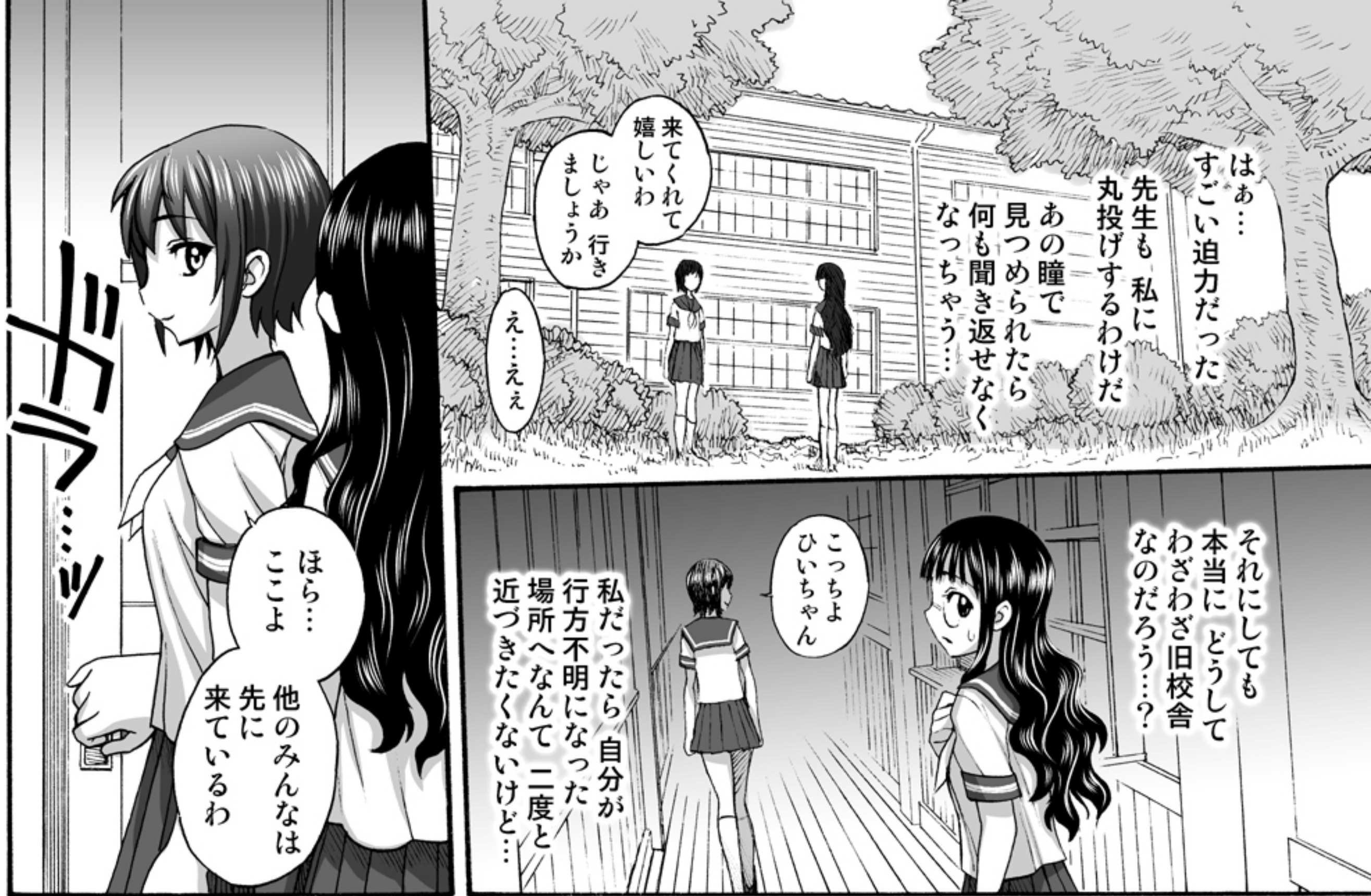
ちようと
今日の放課後に
会合を開くの
実際に
見学してもらうのが
いちばん話が早いと
思うのだけれど…
いかがかしら?



そ—
そう…ね
たしかに…

じゃあ—
おじやまさせて
もらっちゃおう
…かな





ガッ...ッ

ほら...
ここよ
他のみんなは
先に
来ているわ

来てくれて
嬉しいわ
じゃあ行き
ましようか

え...ええ

はあ...
すごい迫力だった
先生も私に
丸投げするわけだ
あの瞳で
見つめられたら
何も聞き返せなく
なっちゃう...



それにしても
本当にどうして
わざわざ旧校舎
なのだろう...?

こっちょよ
ひいちゃん

私だったら自分が
行方不明になった
場所へなんて二度と
近づきたくないけど...



真由さん!

真由お姉さま!

ああ...っ
お待ちしてましたわ
真由さん...♡

今日は
見学者をひとり
お連れしたわ

樋口薫さん...
私の昔からの
お友達よ

ごきげんよう
みなさん

あらまあ...
上級生から下級生まで
意外と交友関係
広いのね

なに...?
今の感じ—



ではさっそく
始めましょうか

お披露目の一番手は
そうねえ...やはり
入会して日の浅い
菜穂さんからで
よろしいかしら?

は...はいっ
もちろんです
真由さん!



びしょ
んんん

どどうも
おじやま
します...



お好きな姿勢で
解き放ちなさい

私たち皆で
しっかりと
見届けて
あげるわ♡

ふふ...
それは
楽しみね



早くみんなの前で
出たくて私
朝からずっと
うずうずしっぱなし
だったんです♡

はあ...あ...っ
うれしい...♡

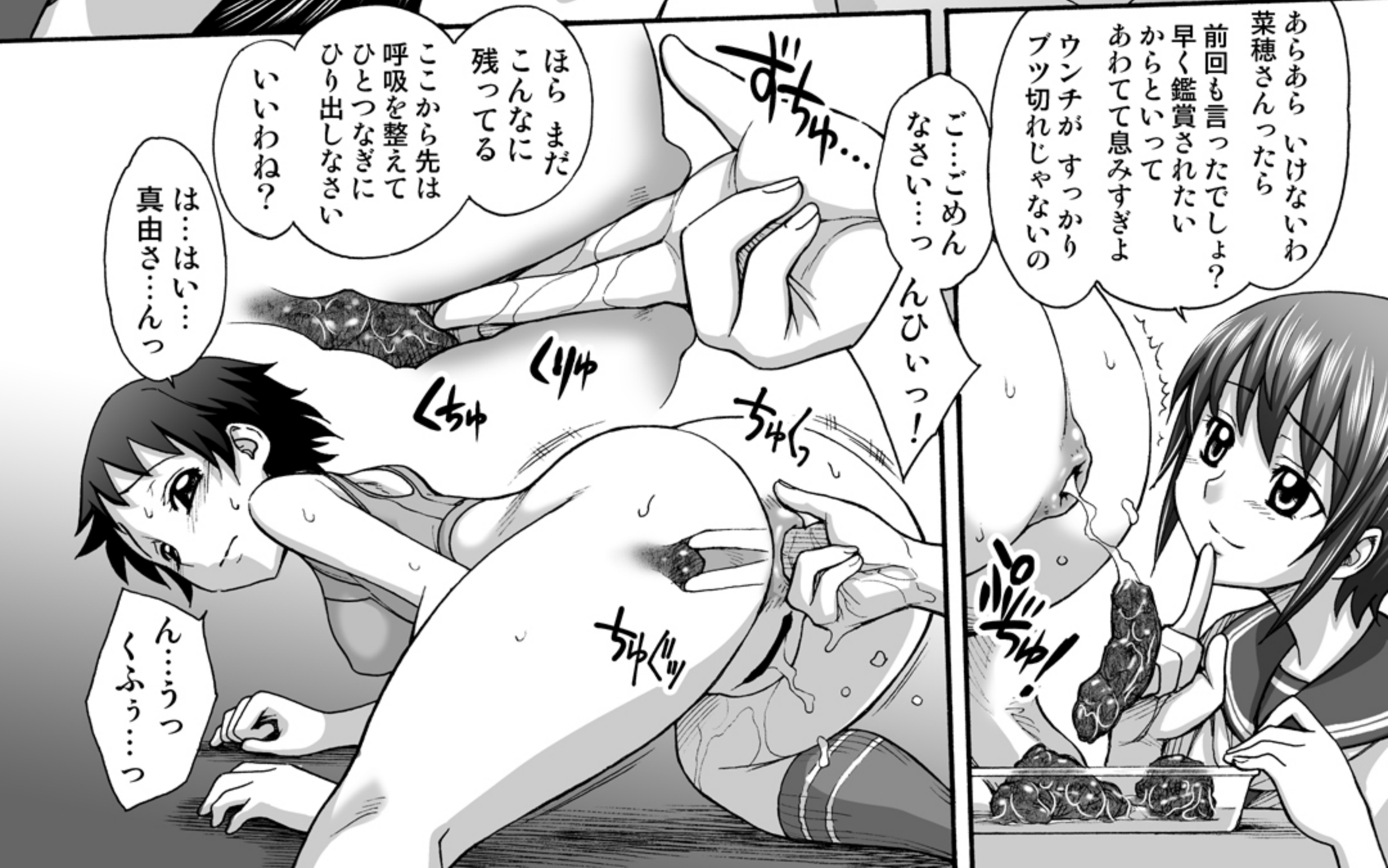


はっあ!?

ちよ...っ!?!
いいきなり
何を...!!
もしかして
ヌードデッサンか
何かの愛好会...
ってことなの!?!

しかし私のそんな
ひねりの無い発想は
あっというまに
打ち砕かれた





あらあら いけないわ
菜穂さんったら

前日も言ったでしょ？
早く鑑賞されたい

からといって
あわてて息みすぎよ

ウンチがすっかり
ブツ切れじゃないの

ご……ごめん
なさい……っ

んひひっ！

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

びしょびしょ……

ここから先は
呼吸を整えて
ひとつなぎに
ひり出さない
いいわね？

は……はい……
真由さ……んっ

ん……んっ
ん……んっ

ん……んっ
ん……んっ

ん……んっ
ん……んっ



はあい♡
真由お姉さま

さて…次は
亜莉紗の番ね
練習の成果を
見せて
ちょうだい

くは..

ダメよひいちちゃん
ちやんとこつちを
お向きなさい

力ずくでまぶたを
開かせるような無粋を
私にさせる気?

く…っ!

そうよ
勇気をだして
樋口さん

私からも
お願いします
樋口せんばい

いっしょうけんめい
ひり出すところを
見ていただけないなんて
私悲しいです…

ねどうか私を
助けると思って…
後生ですから

亜莉紗の排泄なら
あなたもきつと
ひと目でその魅力が
分かるはずだわ

私だってはじめは
びっくりしたけど
すぐ釘付けに
なったんだから♡

でも…
でも…

わわかった…わよ

見れば—
見ればいいんでしょ

降

降

降

か
あ
っ



ありがとうございます
ございます
じゃ
いきますね

私がウンチするとこ
しっかりと目に
焼きつけて下さい♡

びんびん

びんびん
んんん

あま...あま...
あま...あま...♡

あま

あま

んんん...

あま

あま

あま

あま

あま

うらやましい...
私より歳下なのに
もうあんな脱糞が
できるなんて♡

たたしかに
すごい...
あんな小さな
身体から
あんな太いのが...
この目で見てても
現実とは
思えないわ...!

あ...ああ...♡
なんて見事な
ウンチなの...

色つや長さ
重量感...

ぷっくりと
盛り上がった
肛門...♡

樋口さんもそう
思うでしょう...?

私ももつともつと
肛門を柔らかくして
ぶつとい一本糞を
ひり出せるように
ならなくちゃ...♡

あま

あま





うふふ…
ステキよ
亜莉紗
質・量ともに
申し分のない
ウンチだわ

香りもかぐわしくて
とってもおいしそう♡

真由 い…今
なに…を…



ちやんと肛門を
盛り上げて
おきなさいね♡

ふふ…
もちろんよ

肉ヒダの
ひとつひとつまで
しっかりと
磨いてあげるわ♡

は…はいっ
真由さま…♡



はあ…ん♡
喜んでいただけ
私も嬉しいです

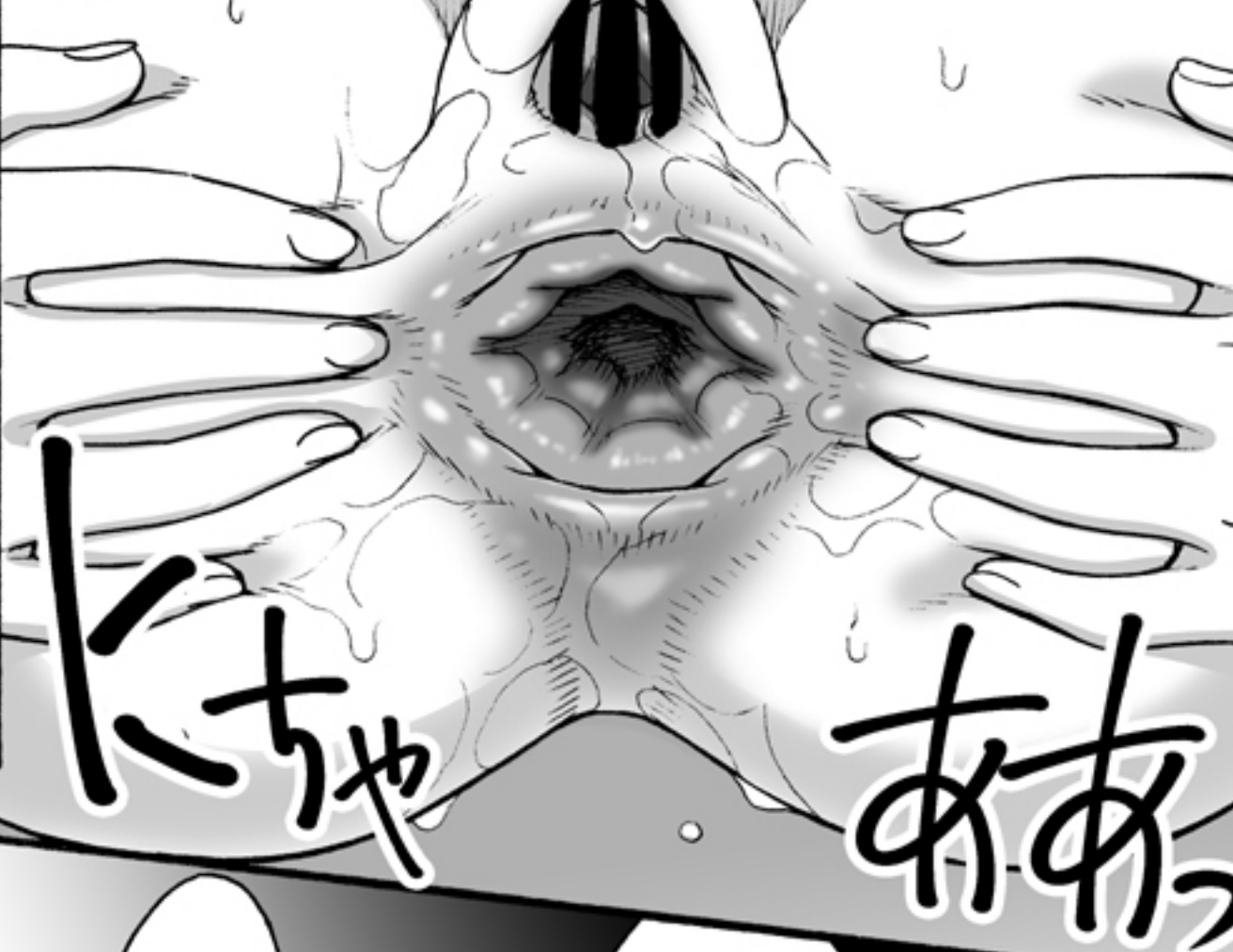
ウンチ
ひり出したばかりで
拡がりきった 亜莉紗の
はしたないケツ穴も
よろしければ
ご賞味ください♡



んあ…いく…ツ
イッチやううツ!

んお…ああっ!
好きいい♡
それ好きですう

ケツ穴の淵に
沿ってペロペロ
されるの



さあ…
最後はいよいよ
千佳子お姉さまね

はい…♡
かしこまりました
真由さん

ところで
ひとつお手伝いを
お願いしても
よろしいかしら…
樋口さんに

え…!?!
わ私…?!

ふふっ
おびえなくても
大丈夫ですよ♡
これをこうして
持っていきくださる
だけでいいの

ね? 簡単な
ことでしょう



も...もう結構です...
お...終わりにしてえ...っ

ち...ちがうの遠慮とかじゃなくて...もう十分だから...

あら...遠慮することないのに♡
千佳子さんだって見られるのが大好きなのよ



ええ...♡
もちろん

じゃあ千佳子さん仕上げをお願いしてもよろしいかしら?!

ずいぶんと奥ゆかしいのね
まあいいでしょう

入念に...
ですわよね
真由さん♪



んぶ...っ!?

どう? 樋口さん
素敵でしょう
脱肛したケツ穴の
フニフニした弾力
ウンチの味と香り
肌ざわり
それに肛門の肉感...
顔中でまるごと
感じて下さい♡

...ッ!!
...!!

クワッ

上出来よ千佳子さん
見事な尻加減だわ♡

ふふ満足したに
決まっているわよ
そうでしょ？
ひいちゃん…

—つと
これじゃ返事も
できないわね
ごめんあそばせ♡

ありがとう
ございます♡

他ならぬ真由さんの
お友達ですもの
誠心誠意塗糞させて
いただきましたわ

樋口さんにも
ご満足いただけただ
かしら

おん

ん…
美味しい♡

肉質も風味も
すばらしいわ
さすがは
千佳子さんね

はむ
はむ

み…
見間違いないじゃ
なかった…

ほんとうに
舐めて…
食べてる…!!

ゴクッ

あはあ…っ
光栄ですわ♡

真由さんに長い間
調教していただいた
おかげです…んうっ

ぬちやあ…っ

いあ…ッは

ゆ…ゆるして
真由…お願い…

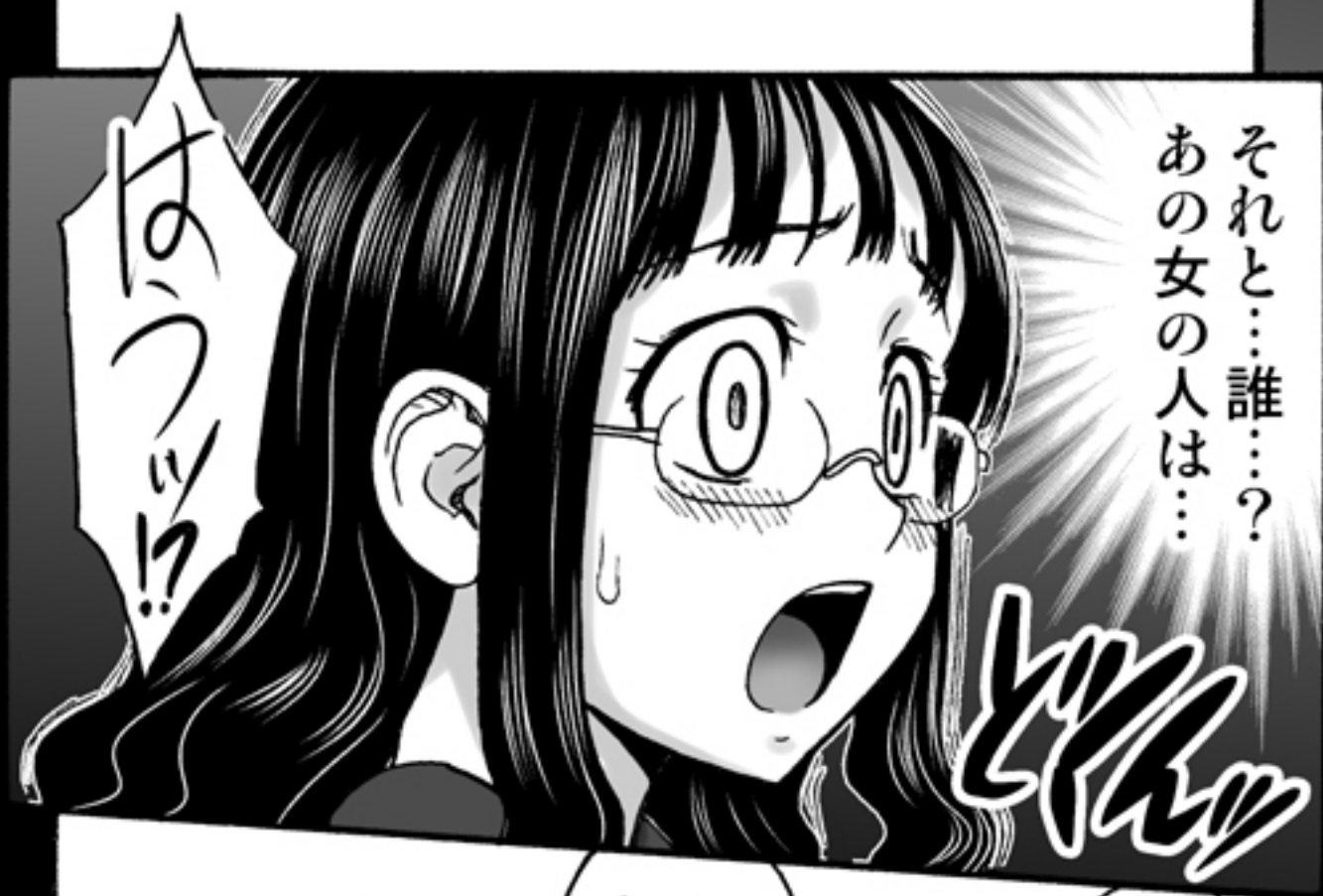
れっ

あま…んっ
お姉さまの
腸汁♡♡♡
おい♡♡♡

はま…あっ♡
すつきですっ
千佳子姉さまの
尻肛♡♡

ちゅる、
びゅっ

もう…もう
帰らせて…え





びしょ...びしょ

あ...ああつ
ダメ...え

こんな格好
させられたら...
すぐに
漏れちゃう...

びしょ...



しい...っ
いけないよ
亜莉紗ちゃん
まだ初心者
なんだから

やだあ...
樋口先輩ったら
あんなウンチ

でもそれに
したって...

クス
クス



あらあら
随分とお粗末な
ウンチね



さあ
はじめましょうか
まずは千佳子さんの
ウンチから...

はい 真由さん
こちらに♡

でも大丈夫よ
ひいちちゃん...

あなたもすぐ
一人前の糞ひり娘に
作り変えてあげるわ

は...あ

は...あ

びしょ

びしょ

びしょ

あ...ああつ
ダメ...え

な何する
気なの…!?

まさか…

この瞬間だけは
いつも
緊張しますわ

私のウンチの味
お気に召して
いただけるかしら

良質なウンチが
どういうものなのか
理解するには
実際に体感するのが
いちばんなの

まゆむっ

まゆむっ

だめ…
やめて…っ

さあ…
熟れきった果肉の
濃厚な食感を
お腹いっぱい
味わいなさいな♡

ぬりゅん♡

いあああ!!!
ひひひひひ
ぐぐぐ…

遠慮なく
召し上がって
下さいね♡

おかわりは
いくらでも
ありますから

うあ…っあ

ゆるして…
おねがい…

こんな…
こんな…

はあ…だめ…っ
お尻…閉じれない

お尻に力が
入らない…

まゆむっ

そして真由の…
いや真由の姿をした
魔少女が指揮する
世にもおぞましい
粘土遊びが始まった

なかなかいい
ペースよ薫♡

入れては出し
出しては入れ
お尻を閉じる間も
与えられない
挿入と排出の連鎖

同時に
手慣れた指先が
充血した花芯を
コリコリと
しごきたてる

出し入れするたび
着実に腸の中が
広がっているわ

内臓がよじれる壮絶な便意と
直後の呼吸を忘れる開放感で
もみくちゃにされながら
私はおもしろいように
いきまわってしまおう

よかったわね♡
生きてきた中で
いちばん太くて長い
ウンチの記録を
脱糞するたびに
更新しているのよ

充填と開放の
ジェットコースターを
いったいどれくらい
繰り返しただろう…
気づけば私の腸管は
大量の排泄物を
すっかり飲み込める
ようになっていた
でも…

ほほほ

ゴッポ...

はあ...はあ...
もう...
いいでしょ...

とはいえ
塗糞で半分くらい
減っていたし
千佳子さんの
全部と云うには
程遠いよねえ

そもそも私
一人分のウンチ
だけなんて
言った覚えは
なくてよ?

言われたとおり...
千佳子さんの...ぜんぶ

入るようにな
った...から

だから...
もう...

はあ

ふふそうね...
とりあえずは
褒めてあげるわ

な...なん
ですって!?

準備は
いいかしら?
亜莉紗

見てください
樋口せんぱい♡
腸液でトロトロに
なっちゃったウンチも
固いのと混ぜると
扱いやすくなるの

はい
真由お姉さま♡

今度は
亜莉紗のも一緒に
召し上がって
くださいね♡

そう...悪夢は
はじまった
ばかり
だったのだ

そして…ついに私は
三人分のウンチを
肛口で食べ尽くした

張りつめた下腹の内部で
重くうごめく圧迫感さえ
いまや快楽に感じられる
やがて来る膨大な絶頂を
想像しただけで 私は
軽くイってしまった

いちばん気持ちいい
ウンチの出し方は
もう 完璧に
学習している

荒れ狂う便意を
腸全体で味わい尽くしたら
後は…ひと思いに!

待ちに待った極太ウンチが
ひり出されてゆく長い間
もちろん私はずっと
イきっぱなしだった

もうお尻の穴が
壊れたって構わない
この排泄が
永遠に続いてほしい

目もくらむほどの
脱糞エクスタシーが
私の思考をウンチ色に
塗りつぶしていった…

ほんおっおっ♡

ば

ば

ば



見事な脱糞アクメ
だったわよ 薫♡

はあ

はあ

はあ

それだけイキ
まくれるなら
下ごしらえは
充分ね

あとは
このお注射を
ブチ込むだけ

あなたのケツ穴は
これで完全に
生まれ変わるわ♡

だ…だめ…
こんな…の

大き
すぎるよ…
お…お願い

お尻…
イったばかり
だからあ…っ

すぬ

あゝあゝあゝ!!

Shyachin♡

おちゅ

んふ...う♪
いいわ薫

あなたのケツ穴
とても具合が
良くてよ♡

おちゅ

ええっ

ああ...だめ...
私気持ちいい声
出ちゃってる...♡

ほう

あ...

んが...
あ...♡

奥まで
とろけていて
一気にチンポを
突き込める
どんな角度にも
腸のヒダヒダが
びったり吸い
ついてくるわ♡

うふふ...
ひいちゃんったら
おちよぼ口を
こんな
膨らませて♡

ずっと柔らかい
ウンチを出し入れ
してたから固くて
熱いおチンポが
美味しくて
たまらないでしょ

ああ...真由
あなたは...
ほんとうの
真由...なの？

おちゅ

怖がらなく
ても大丈夫

「まゆら」に...
私たちの娘に
まかせておけば
何の心配も
要らないわ♡

おちゅ

たすけて...
このままじゃ
わ...私...っ

え...っ？
む娘...!!

そう...「まゆら」
私と笙子の娘よ

にに

さて…薫さんの処置もひと段落したことだしお茶会にしましょうか

わあステキ！お母様がたのお手製ですね♡

このときを心待ちにしてましたわ♡

はあ…ん♡おふたりのウンチ美味しすぎますう

こっぴりと濃厚なのになめらかで…噛みしめるたび甘臭い腸液が溢れてきて…

さあどうぞ…♡ 私たちのウンチで空っぽのお腹をたっぷり満たして

んあ…つはああ♡ ウンチきたあつ！真由さまのウンチい♡♡♡

ほお…♡

むにやううう

にちや

そしてまたウンチをたくさんひり出してね♡

食べるだけじゃなく身体中で味わいましょう

もちろんです千佳子お姉さまあ♡

まゆらさんが生まれるずっと前からウンチを捧げ合い循環させ続けてきた真由様と笙子様

まさしく深い情愛と熟成のなせる味ですわ♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ

おほおほ

おいしい…
真由さまの
おっぱいは…♡

ウンチと
ぐちゅぐちゅに
混ぜ合わせると
甘さと苦さが
調和して 格別の
味わいです♡

んっ
んっ
んっ

んっ…くふう♡
どんだん吸ってね

この世界で
私が出産したのは
ずっと昔でもあり
つい昨日のこと
でもあるから

産後と同じで
お乳が張って
困っちゃうの♡

ああ…光荣です
私なんか
箕子さまが跨って
下さるなんて
半人前の便器ですが
一生懸命 受けとめ
させて戴きます！

そう恐縮する
ものではなくてよ
菜穂さん
あなたの意気込みは
よく知っています

固く締まった蕾ほど
大輪の花を
咲かせるというもの

あせらずとも
私たちには
いくらでも時間は
あるのだから…
そうでしょう？

んっ
んっ
んっ

んっ…おっ

おっ…

んっ…

はあ…あつ
箕子さま…♡
なんてお優しい
お言葉と
ウンチ…それに
精液まで…♡



あぁ…みんな
どうかしてるわ
こんなのって…

あぁ

はぁ

でも…目が
離せない…

大丈夫よ
あなたには ちゃんと
私のを食べさせて
あげるから♡

ふふ…薫も
食べたくて仕方ない
って顔ね
みんなのお茶会が
羨ましい？

ち違うわ
そんな…



ぐわっ

ギョギョッ

ギョギョッ



だ…ダメよ
こんな…
はやく口を…
目を閉じなさい

ああでも…
なんて美味しそう
ウンチなのかしら…

つややかな色
みっちりとした
詰まった果肉…
果汁もこんなに
滴らせて…

ぐわっ

ぐわっ

はぁ

はぁ

そうそう…
それでいいのよ
薫♡

あなた
食糞のマナーを
わきまえてるわ

きゃっ♡

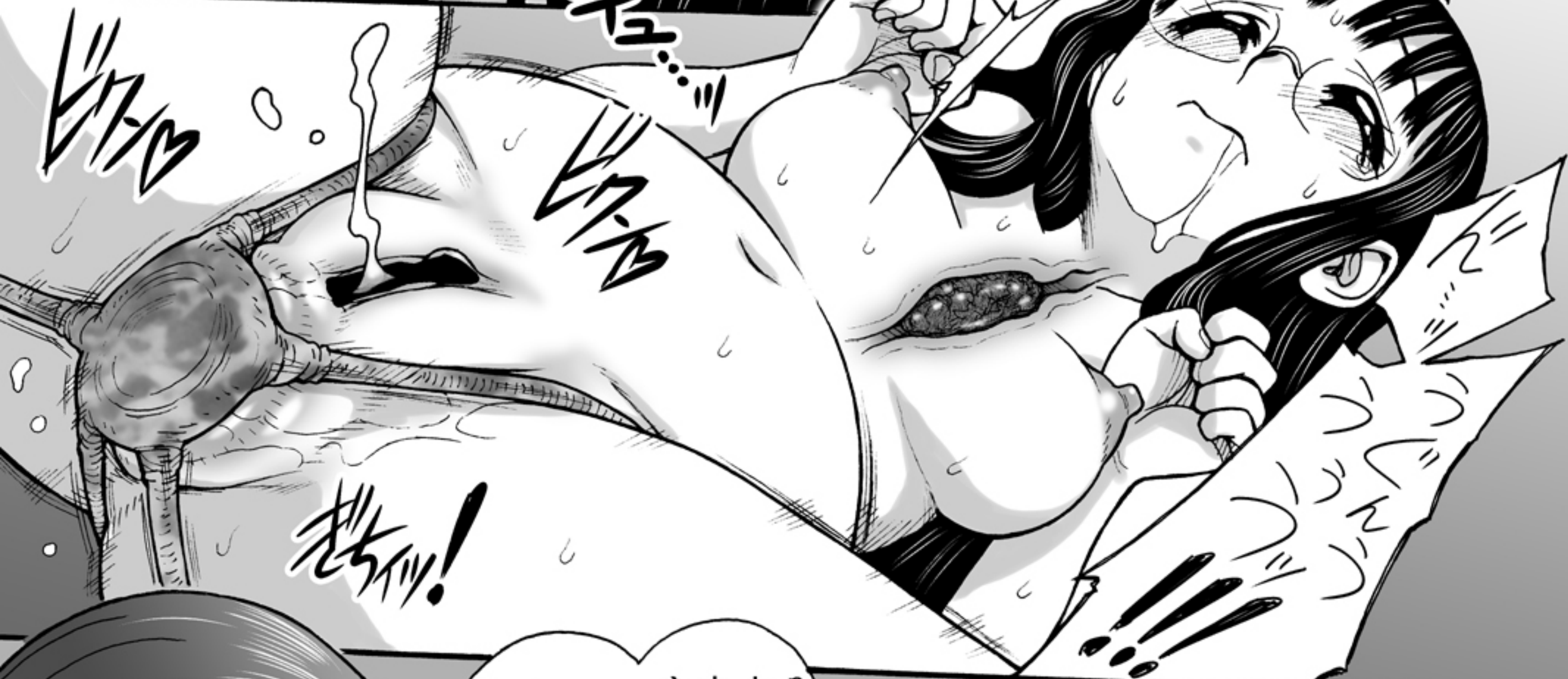
あわてて飲み込むなんて
お行儀の悪いことしちゃ
ダメ♪

この禁断の果実の
味をあなたの肉体は
もう知っているはず

匂い弾力舌ざわり
自分がウンチを
食べていることを
しっかりと認識ながら
時間をかけて味わうの…
何も怖くなんか無いわ

お尻の穴から食べて
あんなに気持ちよく
なれたんだもの…
お口で食べたなら
もっと気持ちいいに
決まってるわ♡
さあ……

聖…



クスッ
よく
できました

わ…わたし…
おかし…く
なっ…ひゃ…

それこそが
本当のあなた…
肉便器としての
あるべき姿だわ
おめでとぅ…
これであなたも
名実ともにこの
楽園の一員よ♡

♡…♡…♡



はあ……んあ……

いつのまにか
下腹の膨らみは
すっかり
引っ込んでいた

ウンチと精液が
すべて体内に
吸収されたのだ

けつあな……
からっぽに
なっちゃった
……あん♡

そして私はその事実
に身震いするほどの
歓喜を感じてしまっ
ていた……

今なら心の底から
共感できる

大量のウンチを
見事にひり出せる
ようになりたい……
早くみんなに褒められる
肉便器になりたい……♡

あんなに嬉しそうに
ウンチを受け止めて……♡
とっても素敵よ薫

さすがはまゆらが
見込んだ娘ね

いつたい
どの娘が最初の妻に
なるのかしら

あら……
笹子お母様ったら
そんなことを
気にしてらしたの？

ぬち ちち……

まあ……！

もちろん 出産も
みんな一緒にね♪
きつとすばらしい
光景になるわ……♡

私はみんな一度に
孕ませるつもりよ♡
横に並べて順々に
種付けしていくの

種付けは もちろん
ウンチを塗りたいくらい
おチンポで……♡
ああ……想像しただけで
おまんこが疼いちやう♡

入会したての私は
まだ念入りに
ウンチ漬けて
もらってる段階
だけ……いつか
一人前になれたら
まゆらの妻にして
もらえるのだそうだ



真由♪
一緒にお昼
食べましょ

はやく
はやく
はやく♡

あん♪
あわてないでよ
薰ったら

あのふたり
ずいぶん親密に
なったね



時間を気にせず
夢中になれる
あつちの世界も
いいけど

こういう場所も
生々しくて
たまらないわ♡

ふふ… あんまり
むしゃぶりつくと
ウンチまみれの顔で
午後の授業を受ける
はめになるわよ？



なんとかっていう
愛好会を見学して
からみたいよ

そこで
いいことでも
あったのかな

本当にウンチを
食べてるんだ…
もう後戻り
できないんだって
実感できるの♡

まあ私は
構わないけどね…
こつちの世界でも
思い切った調教を
やってみないと
思ってるし

薰たちの
肉便器っぷりを
全校生徒の前で
披露するとか…♡



あ… 樋口さん
どうだった？
例の愛好会は

あなたまで入会
したらしいけど

はい…とても
健全で仲の良い
愛好会でした

活動内容も
言葉では
言い表せない程
素敵でしたよ

先生もぜひ
見学されては
いかがでしょう
いつでも
歓迎いたし
ますわ…♡